

リハビリテーション治療



機能障害へのアプローチ

- ・麻痺の回復
- ・認知機能の回復
- ・骨関節機能の回復

代償的アプローチ

- ・残存機能の活用
- ・補助具の活用
- ・環境の調整

- ・疾病自体の治療
- ・全身管理
- ・リスク管理

リハビリテーションチーム
(医師、看護師、PT、OT、ST、MSW等)

生活機能・QOLの向上、社会参加

H18年度改定：評価できる点



早期リハが充実

- ◆ 発症後早期の算定可能上限緩和(9単位まで)
- ◆ 療法士1日あたり算定可能単位数の緩和
- ◆ 機能訓練室面積要件緩和
- ◆ 回復期リハ病棟対象疾患の拡大
- ◆ 摂食機能療法の評価
- ◆ 訪問リハの充実

平均在院日数とリハ実施件数

(日、×1,000件) (慶應義塾大学病院)

